



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 レオン自動機株式会社
 コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田代 康憲
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務統括部長
 兼経理部長 (氏名) 宮岡 正 (TEL) 028-665-1111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	20,225	△10.8	2,136	△29.7	2,214	△30.4	1,561	△28.5
2019年3月期第3四半期	22,681	6.4	3,037	△0.5	3,184	1.2	2,182	△1.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,646百万円(△24.0%) 2019年3月期第3四半期 2,164百万円(△18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	58.28	58.17
2019年3月期第3四半期	81.50	81.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	32,059	24,756	77.0	921.73
2019年3月期	32,179	23,867	74.0	889.32

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 24,701百万円 2019年3月期 23,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2020年3月期	—	15.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,510	△3.2	2,990	△10.3	3,070	△12.5	2,180	△11.8	81.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	28,392,000株	2019年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,593,212株	2019年3月期	1,614,171株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	26,790,481株	2019年3月期3Q	26,778,185株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記).....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等).....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景とした人手不足対応の省力化投資の増加など、設備投資は堅調に推移しましたが、個人消費は消費税増税による駆け込み需要の反動減や自然災害などにより減少しました。世界経済の減速や米中貿易摩擦の先行き不透明感などから、輸出・生産が弱含んでおり、全体としては横ばい圏で推移しました。

海外経済におきましては、米国では好調な雇用・所得環境により個人消費は堅調さを維持しました。欧州では、雇用・所得環境の改善は続いています。製造業の輸出や設備投資などが低迷しております。アジアでは、中国で景気対策による下支えがあったものの、米中貿易摩擦の悪影響により減速傾向が続きました。

このような状況の中、当社グループは2018年度を初年度とする中期経営計画を策定し、『変革への挑戦』を合言葉に、4つの重点施策である「生産体制の強化」「販売体制の強化」「人材育成」「業務環境整備」に取り組んでおります。

当社グループが市場とする食品業界は、消費者ニーズの高度化、多様化に伴う商品のバラエティ化、人手不足を背景とした省人化・省力化などの課題をかかえております。また、食の安全性、健康志向の増大、環境問題など市場のニーズが多様化しております。当社グループは、変化する市場環境や経営環境に対応するため、レオロジー（流動学）を基礎とする独自の開発技術の商品化およびソフト技術の充実により、食品機械のより一層の標準化推進と、安全性の向上を図るとともに、多様な消費者ニーズに対応できる商品群を国内および海外の食品業界へ提案してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は20,225百万円（前年同四半期比10.8%減）、営業利益は2,136百万円（前年同四半期比29.7%減）、経常利益は2,214百万円（前年同四半期比30.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,561百万円（前年同四半期比28.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

食品加工機械製造販売事業(日本)

日本国内では、修理その他の売上は増加しましたが、食品成形機、製パンライン等、仕入商品の売上は減少しました。

主な要因は、製パンライン等や仕入商品で前第1四半期に大型ラインの特需があったことがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は8,016百万円(前年同四半期比26.8%減)となりました。

セグメント利益は1,928百万円(前年同四半期比44.3%減)となりました。

食品加工機械製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、修理その他の売上は減少しましたが、食品成形機、製パンライン等の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比30.0%増加となりました。

主な要因は、食品成形機でフィルドブレッドやチーズボール、クッキーなどの生産用として火星人の販売が増加したこと、製パンライン等でブレッド生産用としての「ツインデバイダー V X 2 1 2型、V X 2 2 2型」や「コンチャ生産ライン」の販売があったことなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが111円14銭から108円67銭と2.2%の円高となったため、外部顧客に対する売上高は1,592百万円(前年同四半期比27.1%増)となりました。

セグメント利益は18百万円(前年同四半期比134.8%増)となりました。

食品加工機械製造販売事業(ヨーロッパ)

ヨーロッパ地域では、食品成形機、製パンライン等、修理その他の売上が減少したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比2.8%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが129円49銭から121円05銭と6.5%の円高となったため、外部顧客に対する売上高は2,475百万円(前年同四半期比9.2%減)となりました。

セグメント利益は展示会費用や建物修繕費用などの販売費及び一般管理費が減少したことにより、231百万円(前年同四半期比85.9%増)となりました。

食品加工機械製造販売事業(アジア)

アジア地域では、食品成形機の売上は減少しましたが、製パンライン等、修理その他、仕入商品の売上は増加しました。

主な要因は、製パンライン等でバゲット生産用として大型ラインの販売があったことや、中国向けにブレッド生産用として「VMライン」、ペストリー生産用として「HMライン」、菓子パン生産用として「FEライン」などの販売があったことがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は2,855百万円(前年同四半期比31.9%増)となりました。

セグメント利益は976百万円(前年同四半期比13.8%増)となりました。

食品製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースでは、前年同四半期比3.4%減少となりました。

主な要因は、既存及び新規顧客へのクロワッサンやデニッシュなどの売上が増加した一方、大手顧客へのクロワッサンなどの売上が減少したことがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが111円14銭から108円67銭と2.2%の円高となったため、外部顧客に対する売上高は4,924百万円(前年同四半期比5.6%減)となりました。

前年同四半期は、大手顧客への売掛金に対して貸倒損失555百万円を販売費及び一般管理費に計上しましたが、当期は計上がないため、セグメント利益は342百万円(前年同四半期はセグメント損失95百万円)となりました。

食品製造販売事業(日本)

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は361百万円(前年同四半期比2.4%減)となりました。

主な要因は、大手ユーザー向けのパン種の販売が減少したことがあげられます。

セグメント利益は展示会費用などの販売費が減少したことにより、61百万円(前年同四半期比18.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,264百万円減少し、14,771百万円となりました。受取手形及び売掛金が726百万円増加、仕掛品が111百万円増加した一方、当社の新社屋建設費や基幹システム入れ替えにともなう支払いなどにより現金及び預金が2,306百万円減少したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,144百万円増加し、17,288百万円となりました。当社の新社屋建設などにともない建設仮勘定が500百万円増加、当社の基幹システム入れ替えにともなうソフトウェア仮勘定の増加により無形固定資産が671百万円増加したことが主な要因です。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて119百万円減少し、32,059百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて907百万円減少し、5,896百万円となりました。短期借入金金が375百万円増加した一方、未払法人税等が650百万円減少、前受金が188百万円減少、賞与引当金が358百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて101百万円減少し、1,407百万円となりました。繰延税金負債が165百万円増加した一方、長期借入金が234百万円減少したことが主な要因です。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,009百万円減少し、7,303百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて889百万円増加し、24,756百万円となりました。これは、利益剰余金が784百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の決算発表時(2019年5月10日)に公表いたしました通期の連結・個別業績予想を変更しております。具体的な内容については、2020年1月31日に公表しております「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,466,898	5,160,268
受取手形及び売掛金	2,455,172	3,181,564
商品及び製品	3,821,357	3,725,177
仕掛品	1,048,331	1,159,459
原材料及び貯蔵品	803,236	815,169
その他	457,258	745,323
貸倒引当金	△16,211	△15,727
流動資産合計	16,036,042	14,771,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,100,158	13,731,133
減価償却累計額	△8,732,323	△8,432,847
建物及び構築物（純額）	5,367,835	5,298,286
機械装置及び運搬具	7,843,326	7,842,598
減価償却累計額	△5,811,571	△5,919,724
機械装置及び運搬具（純額）	2,031,754	1,922,873
工具、器具及び備品	2,043,453	1,992,802
減価償却累計額	△1,785,222	△1,773,513
工具、器具及び備品（純額）	258,230	219,289
土地	4,731,679	4,722,296
リース資産	45,498	44,356
減価償却累計額	△30,181	△33,707
リース資産（純額）	15,316	10,648
建設仮勘定	792,185	1,293,154
有形固定資産合計	13,197,003	13,466,549
無形固定資産	592,366	1,264,302
投資その他の資産		
投資有価証券	830,533	1,085,891
退職給付に係る資産	1,274,716	1,298,781
その他	255,720	180,917
貸倒引当金	△6,628	△7,823
投資その他の資産合計	2,354,342	2,557,766
固定資産合計	16,143,712	17,288,619
資産合計	32,179,754	32,059,853

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	907,729	970,714
短期借入金	746,727	1,122,700
リース債務	8,210	7,593
未払費用	438,374	383,589
未払法人税等	715,197	64,262
前受金	1,680,798	1,492,124
賞与引当金	701,914	343,258
役員賞与引当金	31,700	23,020
未払金	1,359,983	1,269,354
その他	212,536	219,478
流動負債合計	6,803,172	5,896,095
固定負債		
長期借入金	762,345	528,287
リース債務	8,562	4,002
繰延税金負債	137,700	302,769
再評価に係る繰延税金負債	398,310	398,310
訴訟損失引当金	73,278	51,463
資産除去債務	77,523	71,367
その他	51,405	50,929
固定負債合計	1,509,126	1,407,130
負債合計	8,312,298	7,303,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,060,727	7,069,407
利益剰余金	16,078,285	16,862,820
自己株式	△782,638	△773,420
株主資本合計	29,708,124	30,510,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,274	313,864
土地再評価差額金	△5,531,033	△5,531,033
為替換算調整勘定	△567,276	△665,658
退職給付に係る調整累計額	63,940	73,559
その他の包括利益累計額合計	△5,894,094	△5,809,267
新株予約権	53,424	55,337
純資産合計	23,867,455	24,756,626
負債純資産合計	32,179,754	32,059,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	22,681,575	20,225,577
売上原価	12,080,644	10,998,257
売上総利益	10,600,931	9,227,319
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	227,510	245,616
荷造運搬費	642,724	694,110
貸倒引当金繰入額	14,190	5,094
貸倒損失	555,996	—
販売手数料	450,909	460,372
給料及び手当	2,488,585	2,490,968
賞与引当金繰入額	198,063	191,064
役員賞与引当金繰入額	33,200	23,020
退職給付費用	144,940	130,401
旅費及び交通費	372,149	365,815
減価償却費	218,140	276,474
研究開発費	556,377	556,120
その他	1,660,740	1,652,075
販売費及び一般管理費合計	7,563,528	7,091,134
営業利益	3,037,402	2,136,184
営業外収益		
受取利息	5,469	3,645
受取配当金	19,717	19,838
物品売却益	10,497	8,163
為替差益	28,483	1,244
保険解約返戻金	3,062	2,479
電力販売収益	19,311	19,244
その他	99,502	49,594
営業外収益合計	186,044	104,210
営業外費用		
支払利息	19,599	13,423
電力販売費用	10,628	9,367
その他	9,186	2,986
営業外費用合計	39,414	25,777
経常利益	3,184,033	2,214,617
特別利益		
為替換算調整勘定取崩益	55,077	—
訴訟損失引当金戻入額	—	21,815
特別利益合計	55,077	21,815
特別損失		
減損損失	70,174	—
特別損失合計	70,174	—
税金等調整前四半期純利益	3,168,936	2,236,432
法人税、住民税及び事業税	940,536	517,008
法人税等調整額	45,916	158,014
法人税等合計	986,452	675,023
四半期純利益	2,182,483	1,561,409
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,182,483	1,561,409

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,182,483	1,561,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162,134	173,590
為替換算調整勘定	128,545	△98,381
退職給付に係る調整額	15,807	9,618
その他の包括利益合計	△17,780	84,826
四半期包括利益	2,164,703	1,646,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,164,703	1,646,235

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	10,950,968	1,253,000	2,725,844	2,165,256	17,095,069
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,840,406	17,431	—	—	2,857,838
計	13,791,374	1,270,432	2,725,844	2,165,256	19,952,907
セグメント利益又は損失(△)	3,461,836	7,796	124,802	858,737	4,453,172

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	5,216,046	370,460	5,586,506	22,681,575
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	47	47	2,857,885
計	5,216,046	370,507	5,586,553	25,539,461
セグメント利益又は損失(△)	△95,262	51,827	△43,435	4,409,737

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、フランス、トルコ、イタリア
- (3) アジア……………中国、インド、台湾、韓国、タイ

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,409,737
セグメント間取引消去	△101,874
本社一般管理費(注)	△1,270,460
四半期連結損益計算書の営業利益	3,037,402

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	8,016,189	1,592,051	2,475,664	2,855,260	14,939,165
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,968,089	70,711	145	—	3,038,946
計	10,984,278	1,662,762	2,475,809	2,855,260	17,978,111
セグメント利益	1,928,560	18,305	231,972	976,919	3,155,757

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	4,924,678	361,733	5,286,412	20,225,577
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	47	47	3,038,993
計	4,924,678	361,780	5,286,459	23,264,571
セグメント利益	342,459	61,268	403,728	3,559,486

（注）各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国、カナダ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、フランス、ロシア、イギリス
- (3) アジア……………中国、台湾、韓国、オーストラリア、タイ、香港

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	3,559,486
セグメント間取引消去	△82,708
本社一般管理費（注）	△1,340,592
四半期連結損益計算書の営業利益	2,136,184

（注）本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。